

	団体コード:102075		〒374-8501 館林市城町1番1号		
	7. 館林市		TEL 0276-72-4111		市役所まで:
		FAX 0276-72-3297		東武伊勢崎線館林駅徒歩15分	
市長 多田 善洋 期数 2 任期 R11.4.1 副市長 相澤 均	市制施行日	昭和29年4月1日		面積	60.97 km ²
	H P	https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/			
	E-mail	info@city.tatebayashi.gunma.jp			
議長 渋谷 理津子 (議員任期R8.9.30)	花:ヤマツツジ		木:クロマツ	鳥:カルガモ	
キャッチフレーズ : 里沼の息づく 次世代へ安心をつなぐ 暮らしやすいまち 館林					
【市町村のあらまし】 館林は、「鶴舞う形」といわれる群馬県の南東部、ちょうど鶴の頭の部分にあたり、関東地方のほぼ中央に位置している。市域の北部は渡良瀬川をへだてて、栃木県佐野市、東部は群馬県板倉町、南部は明和町に接しており、西部は邑楽町及び千代田町に接している。県都前橋市へは約50キロメートルと遠隔にあるが、首都東京からは約70キロメートル圏域に含まれ、東武伊勢崎線や東北自動車道により約1時間で直結している。また、利根川・渡良瀬川の2大流域にあり、城沼・多々良沼・茂林寺沼に代表される大小の沼が点在し、沼と人とが共生してきた沼辺文化が「里沼(SATO-NUMA)」として日本遺産に認定されている。			・館林市立資料館 ・田山花袋記念文学館 ・カルピスみらいのミュージアム ・県立館林美術館 ・里沼リゾート Hotel KOMORINU ・製粉ミュージアム ・茂林寺、茂林寺沼湿原		
【産業・経済】 農業分野では主要作物であるキュウリ、ナス、トマト、ゴーヤ等の野菜と米麦による複合経営を主としている。首都圏に近い立地をいかし、市民はもとより大都市の消費者に新鮮な農産物を供給することで、安定的な農業経営を行っている。商業分野ではかごめ六斎市やTatebayashi West Farm Marketの開催によりにぎわいを創出するとともに、これまで日本最大級の麺の祭典「麺-1グランプリ」や「グルメ総選挙」を開催するなど、グルメイベントの多いまちである。工業分野では製造品出荷額の約40%を食料品が占めており、本市の強みである良質で豊富な地下水と交通アクセスに優れた立地環境から食品産業の集積が図られている。今後も産業団地造成や既存工業団地拡張により食品産業を中心に優良企業の誘致と市内企業の振興で更なる活性化を図る。			【名勝・旧跡】 ・国指定名勝 躑躅ヶ岡(ツツジ)		
【観光施設・公共施設等】 ・つつじが岡公園 ・つつじが岡ふれあいセンター ・向井千秋記念子ども科学館			【文化財】 榊原康政の墓附同画像、大谷休泊の墓 館林城鐘、不動まんだら板碑 茂林寺沼及び低地湿原等指定文化財 47件 分福酒造店舗、正田醤油正田記念館等国登録有形文化財 8件		
【国勢調査人口】			【伝統行事・伝統芸能】 大島岡里神代神楽、羽附のささら、上三林のささら 木戸のささら、初山まつり		
			【祭り・イベント等】 (R7.6.1現在) 初市(1月)、さくらまつり(3月)、こいのぼりの里まつり(3月)、つつじまつり(4月)、花と緑のフェスティバル(4月)、ふるさとづくり市民フェスティバル(5月)、花菖蒲まつり(6月)、夏の城沼花ハス遊覧船(7月)、館林まつり(7月)、手筒花火大会(7月)、七夕まつり(8月)、たてばやしスポーツレクリエーション祭(10月)、産業祭(11月) ※このほか、夏から秋頃にかけて、食に関するイベントを開催予定		
			【特産品・名物】 キュウリ、ナス、トマト、ゴーヤ、イチゴ、麦製品、うどん、大根そば		
【人口及び有権者数】					
区 分		H22.10.1	H27.10.1	R2.10.1	区 分
人口	男	39,238	38,266	37,769	人 口
	女	39,370	38,401	37,540	有 権 者
	計	78,608	76,667	75,309	
世 帯 数		29,581	30,219	31,643	
構成比	15歳未満	14.1 %	12.8 %	11.4 %	
	15～64歳	63.4 %	60.2 %	59.0 %	
	65歳以上	22.5 %	27.1 %	29.6 %	
※ 人口及び世帯数は住民基本台帳(R7.1.1現在)に基づく数値である。有権者はR7.6月登録日現在の選挙人名簿登録者数である。					

【令和6年度土地利用の状況】			【産業別就業者数】（R2国調）				
農地	43.1 %	2,630 ha	区分	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数 (分類不能含)
宅地	29.0 %	1,769 ha	就業者(人)	1,397	13,243	22,408	37,355
山林	2.9 %	179 ha	構成比(%)	3.8	35.7	60.5	100.0
その他	24.9 %	1,519 ha					
【普通会計予算規模】（単位:百万円）			【議会議員】				
年度	当初予算額	増減率	条例定数：18人 現員数：17人 (R7.5.1現在)				
5	29,810	1.1 %	【職員数】（R7.4.1現在）				
6	30,850	3.5 %	一般行政	教育	消防	公営企業等	合計
7	31,950	3.6 %	448人	129人	0人	44人	621人
【令和6年度の主な施策・事業】（単位:百万円）			【令和7年度の主な施策・事業】（単位:百万円）				
認定こども園化事業	944		子どものための教育・保育施設運営	1,026			
子どものための教育・保育施設運営	897		商業金融対策	571			
商業金融対策	829		福祉医療費助成事業	553			
福祉医療費助成事業	557		公園競技施設管理運営	493			
道路維持管理	528		情報化推進事業	467			
土地区画整理事業	520		道路新設改良事業	436			
デジタル地域通貨発行事業	449		産業団地造成事業	435			
給食センター運営	351		土地区画整理事業	393			
公園競技施設管理運営	346		デジタル地域通貨発行事業	371			
道路新設改良	343		給食センター運営	352			
【特色ある施策・事業等】			【今後の主要課題及び目標等】				
・日本遺産推進事業			・危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち				
・移住定住ウェルカム支援金			・地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち				
・放課後児童クラブ施設整備補助			・育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち				
・結婚新生活支援補助			・都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち				
・蓄電池設備設置補助			・公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち				
・空家利活用助成金							
・ICT支援員配置							
・英語交流事業							
・第3子以降の学校給食費無料化							
【組織機構】							
市長 — 副市長 — 政策企画部 — 秘書課、企画課、財政課、税務課、納税課							
総務部 — 行政課、安全安心課、人事課、契約検査課							
市民環境部 — 共生社会推進課、市民課、地球環境課							
福祉部 — 社会福祉課、高齢障がい政策課、介護保険課、保険年金課							
健康こども部 — 子育て支援課、こども課、健康推進課							
経済部 — 産業政策課、農業振興課、ほ場整備課、商工課、つつじのまち観光課							
都市建設部 — 都市計画課、道路河川課、緑のまち推進課、建築課、区画整理課、下水道課							
出納室(会計管理者)							
市議会 — 議長 — 議会事務局							
教育委員会 — 教育長 — 事務局 — 教育総務課、生涯学習課、学校教育課、文化振興課、スポーツ振興課、向井千秋記念子ども科学館、図書館、学校給食センター							
監査委員 — 監査委員事務局							
農業委員会 — 農業委員会事務局							